

# 高浜「適合」に抗議



京都府庁前で抗議のアピール行動を行う参加者ら。13日、京都市

関西電力高浜原発3、4号機が新規規制基準に「適合」したとする審査書が決定され、高浜原発で事故が起こった際に大きな被害を受ける自治体としては不十分な安全協定を京都府が関西電力と結ぼうとしているなか、京都の「キンカン行動」に参加する市民らは13日、京都府庁正門前(京都市上京区)で抗議のアピール行動を行い、50人が参加しました。

参加者は、横断幕やプラカードを掲げながらリレートークを行い「住民の安全が保障されない審査書決定はすぐに撤回を」「京都府は関西電力にしっかりものが言える安全協定を結んで」と訴えました。

日本共産党京都府議団(前窪義由紀団長、

市民がアピール 京都

11人)も参加しました。

自転車で通りかかった男性(70)「南区」は「京都は複数の原発が隣接しているから、事故が起これば大きな被害を受けるのは間違いない。私も再稼働には大反対です」と語りました。

市民らは、審査書が決定された12日夜にも、四条河原町(京都市下京区)で抗議宣伝を行いました。

参加した高校教諭の女性(29)「山科区」は「1月に初めて『キンカン行動』に参加したときに、原発は人ごとじゃないと分かった。これからは自分たちに直接関わる問題として行動に参加していきたい」と話していました。